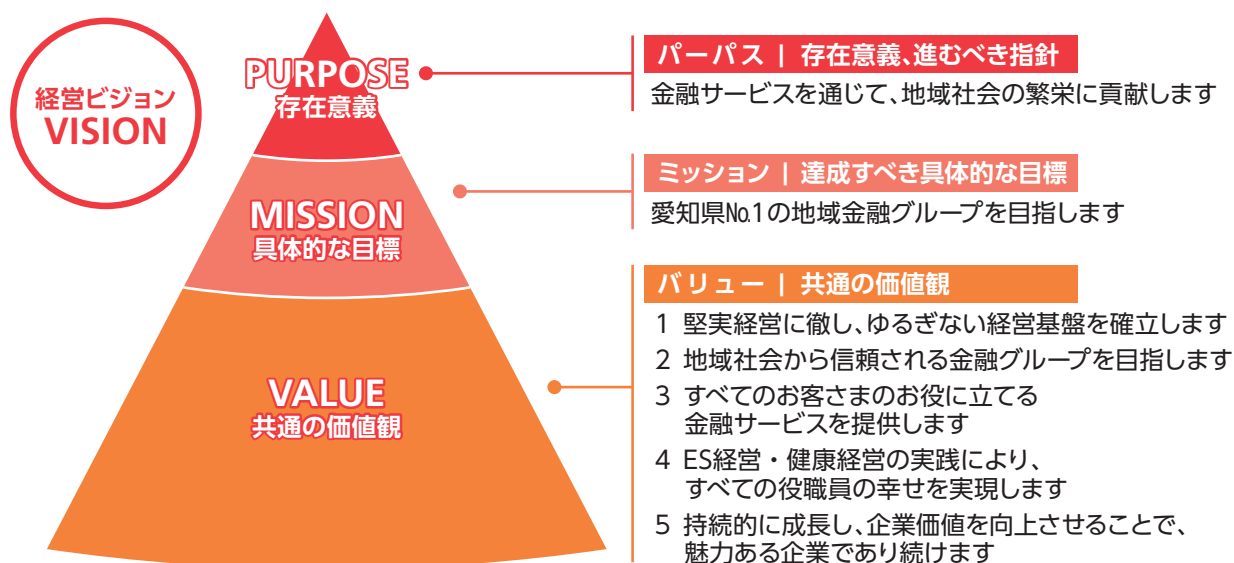




あいちフィナンシャルグループ
中間期ディスクロージャー誌
2025 (2025年4月1日～2025年9月30日)



経営理念



当金融グループは経営理念を経営ビジョン「VISION」と呼び、パーパス「PURPOSE」、ミッション「MISSION」、バリュー「VALUE」の3つの要素により、全役職員が目指す姿及び意思決定の際の指針とします。

当社の概要

商 号	株式会社あいちフィナンシャルグループ
所 在 地	愛知県名古屋市中区栄三丁目14番12号
機 関	監査等委員会設置会社
代 表 取 締 役	代表取締役社長執行役員 伊藤 行記
資 本 金	200億円
設 立 日	2022年10月3日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 名古屋証券取引所プレミアム市場

CONTENTS

■ ごあいさつ	1
■ 中小企業の経営の改善および地域活性化への取組状況	2
■ サステナビリティへの取組み	7
■ あいちフィナンシャルグループ 資料編	8
■ あいち銀行 資料編	37



代表取締役社長執行役員
伊藤 行記

日頃は格別のご愛顧をたまり厚く御礼申し上げます。

あいちフィナンシャルグループの2025年度中間期ディスクロージャー誌を作成いたしました。ぜひご高覧たまり、当社グループをより深くご理解いただければ幸いに存じます。

2022年10月3日、愛知銀行と中京銀行は経営統合し、両行の親会社となる「株式会社あいちフィナンシャルグループ」を設立しました。そして、2025年1月1日に傘下の2行が合併し、「株式会社あいち銀行」として新たな一歩を踏み出してから1年が経ちました。脱炭素社会の実現、事業承継問題、DXの進展など、地域のみなさまが直面するさまざまな課題はますます高度化、複雑化しておりますが、多様な人財の活躍のもと、あいち銀行を中心としたグループ全体でコンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルを深化させ、「銀行業を超えたトータルサポートグループ」として、地域社会のサステナブルな発展に貢献していく所存でございます。

あいちフィナンシャルグループの存在意義であるパーパス「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」の実現に向け、この地域でいちばんに相談できて、いちばん頼りになるパートナーとして、いままでにない新たな価値を生み出してまいります。

今後とも、みなさまの一層のご支援、ご愛顧をたまりますよう、心からお願い申し上げます。

2026年1月

中小企業の経営の改善および 地域活性化への取組状況

あいち銀行

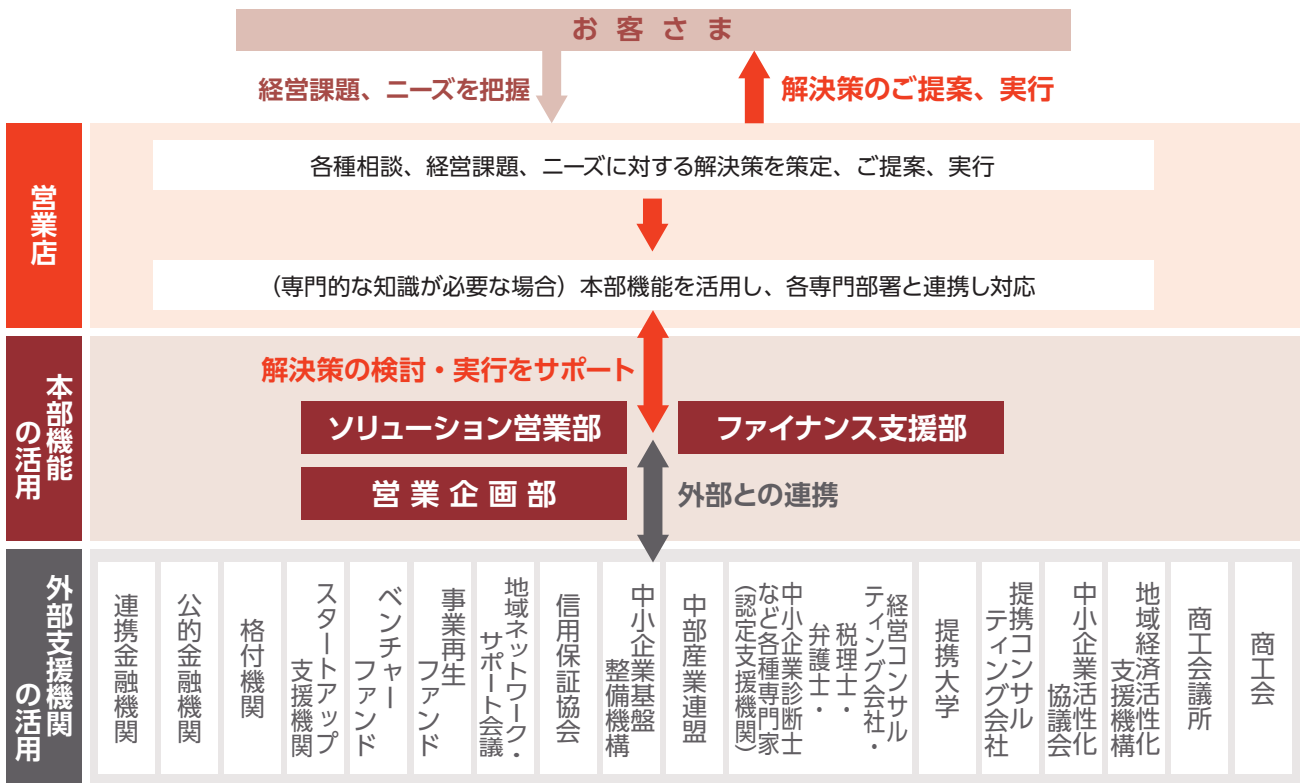
地域密着型金融の推進に向けた取組み

当行は、経営理念を経営ビジョン「VISION」と呼び、パーパス (PURPOSE) として「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」を掲げております。これからも、今まで同様、地域中心の営業に徹し、地域密着型金融を推進していくことで、地域金融の円滑化を図り、地域の皆さまに信頼され、期待される金融機関を目指してまいります。

主な取組策

1. お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の発展への積極的な参画
3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

中小企業の経営支援に関する態勢



中小企業の経営の改善および 地域活性化への取組状況

お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

継続的な企業訪問などを通じて企業実態の把握とニーズの発掘に努め、より円滑な資金供給を図ると同時に本業支援のためのコンサルティング機能の発揮に努めております。

特に、「創業を含めた成長分野支援」・「海外ビジネスサポート」・「事業承継支援」に重点を置き、地域金融機関として地方創生・地域経済活性化に資する取組みを続けてまいります。

創業・新規事業開拓の支援

あいち銀行

愛知キャピタル株式会社によるスタートアップ支援

愛知キャピタルは、スタートアップ企業やベンチャー企業への出資、中小企業への事業承継に向けた資金支援に加え、出資後においては事業戦略の策定支援や経営支援、新たなお取引先とのマッチングなどを通じた地域社会繁栄への貢献を目的に設立したベンチャーキャピタルです。当社では、2022年4月の1号ファンド設立以降、28件の投資を行っております（2025年9月時点）。

あいちFGは、今後も地域のスタートアップ企業、ベンチャー企業などへの資金調達支援に積極的に取り組むことで、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

STATION Aiへの行員派遣

愛知県でスタートアップの支援・育成を行う「STATION Ai株式会社」へ2023年8月より行員を累計2名派遣しており、スタートアップの支援に携わっております。

また、愛知キャピタル株式会社の本社を、2024年11月にSTATION Ai内へ移転いたしました。

当行は、イノベーション創出の重要な担い手となるスタートアップを支援し、地域経済の発展に寄与していくことを目指してまいります。

地域と企業のマッチング

当行は、市町村が抱える農山漁村の課題と民間企業が持つ解決策のマッチングを実施する「令和7年度農林水産省地域資源活用価値創出推進事業」に中間支援組織として参画いたしました。本事業では、自治体に対してソリューション提案が可能な民間企業と、自治体が解決したい地域課題におけるマッチングを提供しており、当行が持つネットワークを活用して地域と企業の効果的なマッチングを創出してまいります。

当行は、引き続き地域のネットワークを活用し、取引先支援を進めるとともに地域の課題解決に取り組んでまいります。

成長段階における支援

あいち銀行

海外ビジネス支援

あいち×インド共創セミナー「インドビジネス成功の秘訣は“現地とのつながり”」の開催

2025年10月、インドでのビジネス展開を検討中のお客さまを対象にセミナーを開催しました。

本セミナーでは、インド現地から経験豊富な専門家を招き、インド経済の最新動向や進出に関するインセンティブのほか、進出日系企業の代表者からはインドビジネス成功のポイントについて解説いただきました。また、当行が2026年2月に開催する「インド視察ツアー」についてもご紹介しました。

当行はこれからも、地域のお客さまの海外事業展開を積極的に支援し、地域経済の発展に貢献してまいります。

愛知大学留学生による輸出促進ティスティング

2025年10月、学校法人愛知大学と農林水産省東海農政局と連携し、海外販路開拓に向けたテストマーケティング企画として「愛知大学留学生による輸出促進ティスティング」を開催いたしました。

本イベントでは、愛知大学の留学生が、輸出や海外販路拡大を目指すお取引先企業の商品を試食し、中国や東南アジア地域等、海外での販売に向けた課題や改善点等について、お取引先企業と意見交換を実施いたしました。

また、当行と連携協定を締結している東海農政局による、食品輸出やインバウンド消費促進に向けた講演も行われました。

当行はこれからも、地域のお客さまの海外事業展開を積極的に支援し、地域経済の発展に貢献してまいります。



愛知大学留学生による試食の様子



当日のセミナー風景



セミナーチラシ

中小企業の経営の改善および 地域活性化への取組状況

■ 経営改善・事業再生・事業承継等の支援取組み

あいち銀行

外部支援機関[※]との連携・活用状況 ※外部支援機関…コンサルタント会社、中小企業診断士、税理士等

内容	2025年4月～2025年9月	
	相談	実績
公的支援機関（中小企業活性化協議会、地域経済活性化支援機構等）の活用実績	16先	7件
条件変更を実行した先等で、当行と外部支援機関が連携し、事業再生・経営改善に取り組んだ実績		24件

当地域で事業を行う中小企業者を対象として、再生に向けた支援を目的として組成された投資ファンド「愛知活性化ファンド・みえ中小企業活性化ファンド・みえ中小企業活性化2号ファンド」に出資参加しております。

経営改善に向けた支援取組み

内容	2025年4月～2025年9月
経営改善計画の策定協力	24先

事業承継支援

当行は事業承継「親族内承継、社内承継（MBO）、第三者承継（M&A）」等お取引先企業が抱える経営課題に対して、それぞれの状況に応じたきめ細やかなコンサルティング支援を行っております。

数値目標（2025年4月～2025年9月）と実績（2025年4月～2025年9月）

重点取組分野	指標	数値目標	実績
お客さまへの提供価値向上	①シローンアレンジ件数	5件	6件
	②M&A取扱件数	11件	21件
	③海外融資の実行件数	8件	9件

中小企業の経営の改善および 地域活性化への取組状況

地域の活性化に関する取組状況

あいち銀行

■脱炭素化やSDGsへの取組み

脱炭素に向けた連携協定の締結

2025年6月に北名古屋、株式会社バイウィルおよび株式会社大垣共立銀行と「J-クレジットを起点とした環境価値に関する連携協定」、同7月に岩倉市および株式会社バイウィルと「ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みに関する連携協定」、同8月に扶桑町および株式会社バイウィルと「カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しました。それぞれが持つ知見やノウハウを活用して相互に連携、協力することにより、地域におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを進めてまいります。

「デジタル化診断サービス」

本サービスは、法人のお客さま向けにバックオフィス業務の課題整理とデジタル化による対策をサポートするものです。お客さまや地域社会のデジタル化・DXに関する支援は地域金融機関としての重要な役割の一つであり、2024年4月よりあいちフィナンシャルグループに加わったAASTグループとともに、お客さまのデジタル分野における課題解決に取り組んでまいります。

あいぎん脱炭素宣言サポート

オリジナルの評価方法により、お取引先の脱炭素への取組状況を確認し、見える化した結果をフィードバックいたします。

取組事例を社内で共有し、対外的に発信することで、脱炭素経営の一步を踏み出す支援を行います。

取扱実績（2025年9月末時点） 120件

●サービス内容

- －脱炭素取組状況の評価
- －評価結果のフィードバックとご提案
- －「脱炭素経営宣言」の策定支援
- ご希望に応じて
- －当行ホームページへの掲載
- －当行本店デジタルサイネージへの社名掲載

あいぎんSDGs 評価サービス

お取引先のSDGsへの取組みを促進・支援するため、SDGsへの取組状況を、オリジナルの評価方法にて「見える化」するものです。

取扱実績（2025年9月末時点） 799件

●サービス内容

- －SDGs取組状況の評価
- －評価結果のフィードバックとご提案
- －SDGsバッジの進呈
- ご希望に応じて
- －「SDGs宣言」の策定
- －当行ホームページへの掲載
- －当行本店デジタルサイネージへの社名掲載

あいぎんSDGs私募債「あすなろ」・ 「みらいエール（旧中京銀行）」

お客さまが私募債を発行する際に、当行が受け取る私募債発行手数料の一部で、お客さまが指定する学校等に希望される物品等を寄贈、または当行指定の公的機関やローカルSDGsに取り組む団体などへ寄付させていただく商品です。

取扱実績（2018年1月～2025年9月末まで）

899件／57,490百万円

あいぎんESG私募債「エコモン」

環境に配慮した経営を行うお取引先企業に対し、私募債発行に伴う手数料の一部を優遇させていただくものです。発行企業は、通常の私募債発行の特徴である優良企業としての信用力向上や資金調達手段の多様化、長期安定資金の確保に加え、環境配慮型経営に積極的に取り組む企業としてのイメージアップが期待できます。

取扱実績（2010年4月～2025年9月末まで）

194件／12,620百万円

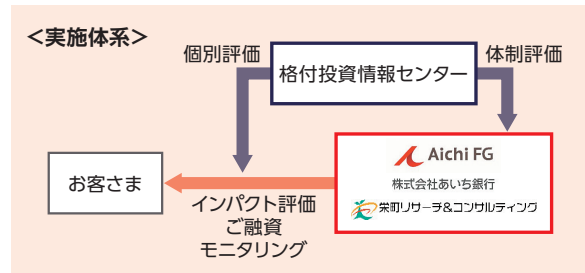
中小企業の経営の改善および 地域活性化への取組状況

サステナブルファイナンス

●ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）

お客さまの企業活動が環境・社会・経済に与える影響を包括的に分析・評価（当行が評価書を作成）いたします。お客さまが設定した目標（KPI）について、当行が継続的にモニタリングを行います。

取扱実績（2022年8月～2025年9月末まで）
38件／12,880百万円



●サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）

お客さまがR&Iと協議のうえ、SDGsやESGに関連した「野心的な」経営目標（SPTs）を設定し、その達成状況により金利を優遇する商品です。

取扱実績（2022年9月～2025年9月末まで）
9件／9,300百万円

●サステナ経営応援ローン

SDGs・ESGに関連する経営目標を設定し、その達成度合いにより金利が変動する商品です。これからSDGsに取り組もうとしているお客さまにもご利用しやすい商品設計としております。

取扱実績（2022年5月～2025年9月末まで）
2,021件／118,964百万円

※旧中京銀行における同型の商品の取扱実績を含む。

●グリーンローン

国内外の対象10事業（グリーンプロジェクト）に要する資金を調達するために用いる商品です。調達資金を確実に追跡管理し、それらに関する融資後のレポートングを通じて透明性が確保されたローンとなります。

取扱実績（2024年9月～2025年9月末）
3件／6,400百万円

※サステナブルファイナンスを通じて、お客さまの目標の実現およびサステナビリティ経営の高度化を支援いたします。

地域貢献・伴走支援

●コンサルプラス

借入取組時に当行のコンサルティングサービスを付加する商品です。お客さまの本業支援や脱炭素・SDGsへの取組みを支援する商品設計としております。

取扱実績（2024年4月～2025年9月末）
372件

エコノミクス甲子園

2025年12月、「第20回エコノミクス甲子園愛知大会」を開催いたしました。次世代を担う高校生への金融経済教育の普及を目的として、2007年より毎年開催しております。



あいちFG教育文化財団

学術・スポーツを含む教育・文化活動への助成や高校生を対象とした文化・体育活動への援助を行っております。助成金累計（1990年度～2025年度）

先数	874先
累計金額	3億29百万円



お子さまへのSDGs啓蒙

ご来店されたお子さま連れのお客さまへ、SDGsについて学べる折り紙を配布しております。



障害者差別解消法への取組み

行員を対象として研修を開催し、障害者差別解消法への理解・知識の向上と店頭対応力の向上に努めております。すべてのお客さまに配慮した優しい店舗づくりに取り組んでおります。

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ方針



あいちフィナンシャルグループは、経営ビジョンのパーパスに“金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します”を掲げ、その理念の下、事業活動を通じ「持続可能な社会の実現」と「当社グループの持続的な成長」を目指します。

1. 環境課題への対応方針

持続可能な社会の実現には、環境課題への取り組みを重要な経営課題と認識し、事業活動を通じて環境負荷の低減や生物多様性の保全などに取り組んでまいります。

- 環境に配慮した商品やサービスの開発・提供を通じて、環境問題に取り組むお客さまを支援します。
- 事業活動における省資源、省エネルギー等の推進に努めます。
- 環境課題への取り組みに対する役職員の意識醸成に努めます。

2. 社会課題への対応方針

地域を取り巻くさまざまな社会課題に対し、積極的かつ主体的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

- 人権に関する法令等を遵守し、あらゆる事業活動においてすべての人々の人権に配慮します。
- 地域経済の発展やお客さまのニーズ・課題解決に対し、当社グループ全体で総合的にソリューションを提供し、地域社会の持続的な成長に貢献します。
- 役職員一人ひとりの価値観を尊重し、多様な人材が公正・適切な処遇のもと、健康で活躍できる職場環境を整備します。

3. サステナビリティ推進体制

サステナビリティへの取り組みを推進していくため、「グループサステナビリティ委員会」を設置し、気候変動をはじめとするサステナビリティに係る重要事項について協議するとともに、適切な事業ポートフォリオの構築、推進に必要な経営資源を適切に配賦し、体制整備を実施します。

マテリアリティ

あいちフィナンシャルグループのサステナビリティの取り組みの一環として、マテリアリティ（重要課題）を特定し、公表しました。

マテリアリティ	基本的な考え方	関連する目標（ゴール）
地域社会繁栄への貢献	当社グループのパーパスである「金融サービスを通じて、地域社会の繁栄に貢献します」に則して、地域社会の課題解決を支援することで、お客さま・地域社会の持続的な成長・繁栄に貢献する。	    
金融サービスの高度化	人生百年時代の到来やお客さまニーズの多様化、DXの進展により、さまざまな金融サービスの開発・向上が求められている。同時に、お客さまにとって分かりやすいサービスや情報の提供に努めていくことが重要である。お客さま本位の業務運営を徹底し金融サービスの高度化を図っていく。	   
環境保全対応	地球温暖化により世界中で多くの気象災害が発生するなか、日本は2050年のカーボンニュートラルを目指すことを宣言している。気候変動をはじめとした環境保全への対応は、すべての企業に求められるものであり、当社グループにおいても積極的に取り組んでいく。	     
従業員エンゲージメント向上と多様な人財の活躍推進	金融機関においては、提供するサービスの幅が広がり、仕事やキャリア形成の選択肢が増えることで、従業員の活躍する場は拡大している。当社グループが掲げるES経営の実践により、従業員のエンゲージメント向上を図り、全役職員が毎日やりがいをもって働くことができる組織を創造することで、多様な人財の活躍を推進する。	  
ガバナンスの強化	ステークホルダーからの信用・信頼をゆるぎないものとするために、コンプライアンスや人権尊重などの取り組みを強化する。また、適切な情報開示を行い、透明性の高い経営体制を構築することで、健全で公正な企業経営を行っていく。	 